

外来診療案内

【受付時間について】 午前の受付／ 8:40～11:45 （内科は11:30まで）
午後の受付／ 13:00～16:30

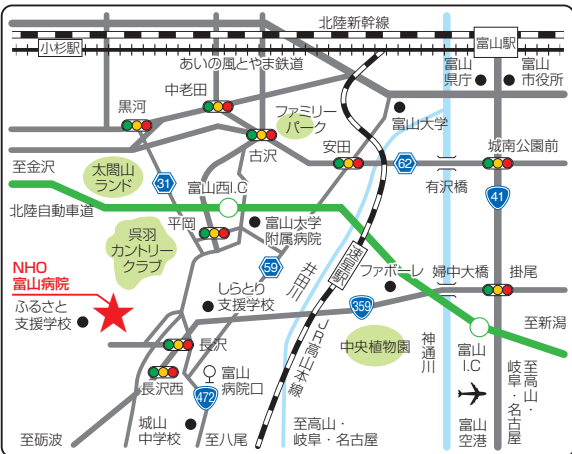
※急患の方は上記以外の時間でも受け付けます。

令和7年1月1日現在

		月	火	水	木	金
小児科	午前	三浦 京谷	紘井 滝澤 (予約)	嶋	篠崎 京谷	三浦
	午後	高井 (13:30～)	金兼	岡部	谷内	金井
アレルギー科	午前	—	—	—	金兼 (9:00～)	—
	午後	金兼 (14:30～)	金兼	—	金兼	岡部 (15:00～)
内科	午前	近	吉田	吉田	河合 (9:00～)	前坂
	午後	森永	村上	川筋	荒屋	竹腰
呼吸器科 (外科・結核)	午前	—	—	—	河合 (予約)	—
	午後	—	—	—	—	—
呼吸器科 (内科)	午前	—	高	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—
外科	午前	柄戸 (9:00～)	柄戸 (9:00～)	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—
リハビリテーション科		午前／午後 小児科担当医が外来診察を行います				
予防接種外来		※詳細は問合せ下さい (要予約)				
こどもの心診療部 初診外来		※詳細は問合せ下さい (要予約)				

※その他、事情により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

☆☆ふれあいボランティア募集中☆☆



富山駅前(南口⑥番)より富山地鉄/バス25,28系統「国立富山病院」下車すぐ。または21系統「国立富山病院口」下車徒歩15分

こどもの心
外来



当院では、すべての患者さんが安心して療養出来る体制の構築に努めております。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

NHO 富山病院

〒939-2692 富山県富山市婦中町新町3145

【病 院(代)】 TEL: 076-469-2135

FAX: 076-469-5616

【連携室(直)】 TEL: 076-413-5001

FAX: 076-469-3963

HP: <https://toyama.hosp.go.jp>

広報担当: 久保・服部・桐崎・三野・浅沼・荒木・松岡



NHO

富山病院ふるさと



新しい年を迎えて 新たな気持ちで

NHO 富山病院 院長 金兼千春

あけましておめでとうございます。今年もNHO 富山病院を宜しくお願い致します。

昨年の能登の地震から1年、豪雨災害もあり、未だに能登の復興は進んでいないようです。昨年は、世界のあちこちでも震災・戦災が起こり、1日1日が平和に過ぎていくことの有難さが身に染みる1年間でした。能登をはじめとした被災された方たちの生活が安心安全なものとなり、世の中の皆さんの平和な日常を守るために何ができるだろうか、とよく考えます。考えれば考えるほど自分が微力であることがっかりする一方で、まずは、当院を利用している目の方々の安全・安心を守ることが第一歩だという結論に毎回至ります。

そんな中で、HPでご報告したとおり、当院にて看護師が利用者の方に暴言を吐くという許されないことが起こり、富山市福祉課に通報を行い虐待と認定されました。みなさんの安全・安心を守るといいながら、非常に残念な事件です。これは、看護師個人の問題ではなく病院全体としての問題と捉え、真摯に取り組んでいくことをあらためて誓いたいと思います。

当院は、重症の医ケアを必要とする子どもたち、発達障害で社会参加に困難を感じる子どもたち、難病で苦しむ方たち、結核の治療を必要とする方たちなど、他の医療機関では対応が難しい方たちに多く利用していただいておりますが、入院しておられる方々の重症化が進み、職員の負担は倍増しています。一般的に、職員の負担の大きさが虐待につながり易いことが知られています。虐待を二度と起こさないためにも、利用者の方たちだけでなく職員が安心して働ける職場を確保していかなければなりません。越さないといけなハードルは高くなる一方で、職員全員で手を取り合って協力することで乗り越えていきたいと思ひます。

ご支援のほど、宜しくお願い致します。

祝・還暦

還暦のお祝いは「暦が一巡するまで長生きしたことを喜ぶ」「人生の区切りをお祝いする」などの意味合いがあります。当院では9月12日（木）に国民の行事である敬老の日に合わせて、今年還暦を迎える方3名を対象に長寿祝い会を開催しました。

家族や同じ病棟の患者さん、スタッフ達が集まり、ささやかなお祝い会ではありましたが心温まる時間を過ごしました。皆さんはこの日を心待ちにしており、当日は綺麗なドレスやスーツに身を包み、緊張した面持ちでのぞみました。3名の方には赤いちゃんちゃんこを身に着けていただき、病院からは病棟スタッフからのメッセージと記念品をお贈りしました。これまでの思い出を振り返る映像が流され、ご本人や家族の方たちは懐かしさと共に、様々な想いがこみあげておられたようでした。

皆からお祝いしてもらい、胸がいっぱいになって涙を流す方もおられ、病院スタッフとしても感慨深いものがありました。

還暦は人生の節目です。病院で長く生活する患者さんたちの人生の節目や生きがいを大切にしながら、今後も患者さんにとって楽しいと感じられる支援に取り組んでいきたいと思っています。

主任保育士 桐崎



「にじいろ」に決定！

当院には、不登校などで困っているこどもたちが入院療養をしておられます。そういったこどもたちにとって「病棟」「入院」という表現が重々しく感じられるという意見があり、少しでもイメージを和らげるよう「1病棟に愛称を付けよう」ということになりました。院内で公募・投票を行い9月20日に、「にじいろ」という愛称に決定しました。この名前には、虹にいろんな色があるように、こどもたち一人一人がいろんな色を持っていい、そしてここではそのそれぞれの色や生き方を大切にしているという意味が込められています。「にじいろ」のパンフレットも一新し、外来から入院・学校まで一貫してこどもの成長を支援する当院の医療を知っていただきたいという思いをこめて、下記の説明会の開催案内とともに県内の小児科等の医療機関に送付しました。



「こどもの心の診療 説明会」開催！

11月28日に、「こどもの心の診療 説明会」を開催しました。この説明会を開くきっかけは、別な件で当院の見学に来られた医療関係者からの「実際に見ることができたことで、どんな病院なのかがわかり、より支援に結び付けやすくなった」という言葉でした。そこで、より多くの県内の医療関係者の方々に当院を実際に見て知っていただくことで、心身の不調や特性により学校に行けず困っているこどもや、その対応に困っている家族とつながることができればという思いで、施設見学を含めた説明会を開くこととしました。説明会には、病院スタッフだけでなく、隣接する県立ふるさと支援学校（以下、学校）の皆様の協力も得て、「にじいろ」を知っていただくための説明スライドの発表と、学校と病棟の見学を盛り込みました。見学では、多くの質問がでて予定していた時間をオーバーしました。今後、県内の医療機関に通院するこどもたちの中から、不規則な生活リズムを改善したい方、病気のため学校を休みがちとなり学習空白を埋めたいと考えている方など、さまざまなこどもたちと当院がつながると良いと思います。

地域医療連携室師長 浅沼

